



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 神田通信機株式会社

コード番号 1992 URL <http://www.kandt.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神部 雅人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 高橋 昌弘

TEL 03-3252-7731

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	2,409	△6.1	△65	—	△29	—	△38	—
28年3月期第2四半期	2,565	—	21	—	50	—	229	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △36百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 242百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△4.85	—
28年3月期第2四半期	28.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	6,107	3,334	54.6	415.88
28年3月期	6,620	3,395	51.3	423.41

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 3,334百万円 28年3月期 3,395百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,200	2.1	172	△33.3	214	△31.0	130	△69.5	16.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	8,744,091 株	28年3月期	8,744,091 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	725,892 株	28年3月期	724,991 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	8,018,342 株	28年3月期2Q	8,020,288 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。詳細は【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用や所得環境に改善が見られ、緩やかな回復基調が続いておりましたが、英国のEU離脱等の要因による株価の停滞や円高の進行により、企業の業績は伸び悩み、個人消費に足踏み状態が見られるなど、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは、永年にわたり情報・通信・映像の事業で培った豊富な経験と情報・通信を統合した確かな技術力をもって、進化するネットワーク社会に適合したソリューションビジネスを展開してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は24億9百万円(前年同四半期比6.1%減)となり、営業損失は65百万円(前年同四半期は営業利益21百万円)、経常損失は29百万円(前年同四半期は経常利益50百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は38百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益2億29百万円)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### ① 建設事業

I Pネットワークの提供で企業のネットワークインフラの設計・提案・構築とサポートサービスを行っており、大手・中堅企業の全国ネットワーク構築や地方自治体のネットワーク構築及びセキュリティ関連システム等のソリューション提案及び商業施設、ホテルやブランドショップ等への照明システムの拡販に積極的に注力いたしました。

以上の結果、当セグメントの完成工事高は19億64百万円(前年同四半期比10.3%減)、営業損失は78百万円(前年同四半期は営業利益55百万円)となりました。

#### ② 情報システム事業

自社ブランドパッケージソフトの開発と販売、一般企業や独立行政法人・社会福祉法人向け等のシステム開発及びセキュリティ関連ビジネスとハード、ソフトのサポートサービスを行っており、独立行政法人・公益法人向け財務会計ソフト「見える会計」、社会福祉協議会向けソフト「こころ」等自社開発パッケージソフトの提案やセキュリティ関連システム提案等ソリューションビジネスを積極的に展開いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は3億92百万円(前年同四半期比14.0%増)となり、営業損失は24百万円(前年同四半期は営業損失49百万円)となりました。

#### ③ 不動産賃貸事業

不動産の賃貸を事業としており、売上高は52百万円(前年同四半期比67.3%増)、営業利益は37百万円(前年同四半期比152.8%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は61億7百万円となり、前連結会計年度末と比較して5億13百万円減少しました。これは主に、現金預金が2億79百万円増加し、受取手形・完成工事未収入金等が8億92百万円減少したこと等によります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は27億72百万円となり、前連結会計年度末と比較して4億52百万円減少しました。これは主に、支払手形・工事未払金等が3億82百万円減少したこと等によります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は33億34百万円となり、前連結会計年度末と比較して60百万円減少しました。これは主に、利益剰余金が62百万円減少したこと等によります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は前連結会計年度末と比較して2億79百万円増加し14億59百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は2億84百万円（前年同四半期は1億95百万円の収入）となりました。これは主に売上債権の減少9億48百万円等の増加要因があった一方、仕入債務の減少3億82百万円、たな卸資産の増加1億27百万円等の減少要因があったことによるものです。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は22百万円（前年同四半期は3億38百万円の収入）となりました。これは主にリース投資資産の回収による収入33百万円等の増加要因があった一方、有形固定資産の取得による支出6百万円等の減少要因があったことによるものです。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は27百万円（前年同四半期は40百万円の支出）となりました。これは主にリース債務の返済による支出33百万円によるものです。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月11日の「平成28年3月期 決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

### (4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	1,241,778	1,521,145
受取手形・完成工事未収入金等	1,899,501	1,007,361
未成工事支出金	203,617	319,545
仕掛品	40,618	51,019
その他のたな卸資産	4,064	5,207
その他	148,050	131,471
貸倒引当金	△36,827	△29,150
流動資産合計	3,500,803	3,006,600
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	366,167	354,982
土地	1,520,934	1,520,934
その他（純額）	14,440	14,058
有形固定資産合計	1,901,542	1,889,976
無形固定資産		
	8,537	8,430
投資その他の資産		
投資有価証券	997,410	994,529
その他	219,556	214,439
貸倒引当金	△6,883	△6,732
投資その他の資産合計	1,210,082	1,202,236
固定資産合計	3,120,162	3,100,643
資産合計	6,620,966	6,107,244

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	1,195,081	812,808
短期借入金	190,000	220,000
未払法人税等	69,274	21,736
賞与引当金	112,778	138,625
役員賞与引当金	10,370	2,200
その他	455,560	382,481
流動負債合計	2,033,063	1,577,851
固定負債		
リース債務	138,214	129,954
繰延税金負債	86,639	85,973
退職給付に係る負債	852,259	858,082
役員退職慰労引当金	67,155	72,494
その他	48,243	48,243
固定負債合計	1,192,513	1,194,748
負債合計	3,225,576	2,772,599
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,310,825	1,310,825
資本剰余金	1,087,084	1,087,084
利益剰余金	869,708	806,776
自己株式	△130,214	△130,368
株主資本合計	3,137,403	3,074,316
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	269,386	266,027
退職給付に係る調整累計額	△11,399	△5,699
その他の包括利益累計額合計	257,986	260,327
純資産合計	3,395,389	3,334,644
負債純資産合計	6,620,966	6,107,244

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	2,565,598	2,409,146
売上原価	1,865,813	1,781,913
売上総利益	699,784	627,232
販売費及び一般管理費	678,746	692,631
営業利益又は営業損失(△)	21,038	△65,398
営業外収益		
受取配当金	8,149	8,819
受取手数料	12,108	14,081
貸倒引当金戻入額	-	7,828
その他	10,488	6,327
営業外収益合計	30,746	37,056
営業外費用		
支払利息	1,461	1,461
その他	81	-
営業外費用合計	1,542	1,461
経常利益又は経常損失(△)	50,242	△29,804
特別利益		
負ののれん発生益	391,204	-
特別利益合計	391,204	-
特別損失		
段階取得に係る差損	195,110	-
特別損失合計	195,110	-
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	246,336	△29,804
法人税、住民税及び事業税	16,727	9,070
法人税等合計	16,727	9,070
四半期純利益又は四半期純損失(△)	229,608	△38,874
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	229,608	△38,874



四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	229,608	△38,874
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,296	△3,358
退職給付に係る調整額	5,572	5,699
その他の包括利益合計	12,869	2,341
四半期包括利益	242,478	△36,533
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	242,478	△36,533

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	246,336	△29,804
減価償却費	14,295	14,652
負ののれん発生益	△391,204	—
段階取得による差損益(△は益)	195,110	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,140	△7,828
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,855	25,846
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,100	△8,170
受注工事損失引当金の増減額(△は減少)	1,934	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△15,638	5,823
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△1,168	5,339
受取利息及び受取配当金	△10,088	△12,954
支払利息	1,461	1,461
売上債権の増減額(△は増加)	601,890	948,771
たな卸資産の増減額(△は増加)	△191,586	△127,472
仕入債務の増減額(△は減少)	△190,013	△382,549
未払消費税等の増減額(△は減少)	△51,794	△45,517
その他の資産の増減額(△は増加)	△8,362	12,721
その他の負債の増減額(△は減少)	3,046	△65,690
その他	△221	—
小計	200,611	334,630
利息及び配当金の受取額	10,085	13,139
利息の支払額	△1,487	△1,518
法人税等の支払額	△14,172	△61,744
営業活動によるキャッシュ・フロー	195,036	284,506
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△194,684	△34,686
定期預金の払戻による収入	194,683	34,684
有形固定資産の取得による支出	△5,003	△6,219
投資有価証券の取得による支出	△1,225	△1,330
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	306,121	—
リース投資資産の回収による収入	38,418	33,969
差入保証金の差入による支出	△1,171	△2,496
差入保証金の回収による収入	2,521	339
その他の支出	△1,223	△1,570
その他の収入	360	90
投資活動によるキャッシュ・フロー	338,796	22,781
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	30,000
リース債務の返済による支出	△38,862	△33,969
配当金の支払額	—	△23,781
非支配株主への配当金の支払額	△1,600	—
自己株式の取得による支出	△159	△154
財務活動によるキャッシュ・フロー	△40,621	△27,905
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	493,211	279,382
現金及び現金同等物の期首残高	816,754	1,180,034
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,309,965	1,459,417

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計(千円)
	建設事業 (千円)	情報システム事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	
売上高				
外部顧客への売上高	1,964,672	392,174	52,298	2,409,146
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	1,964,672	392,174	52,298	2,409,146
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△78,594	△24,706	37,902	△65,398

(注) セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。